

◇ 学校努力点

名古屋市では、子どもたちの実態を踏まえ、重点的に取り組むべき教育活動「努力点」を設定しています。本校では、本年度の努力点を下のようなテーマで実践を行っていきます。

【テーマ】

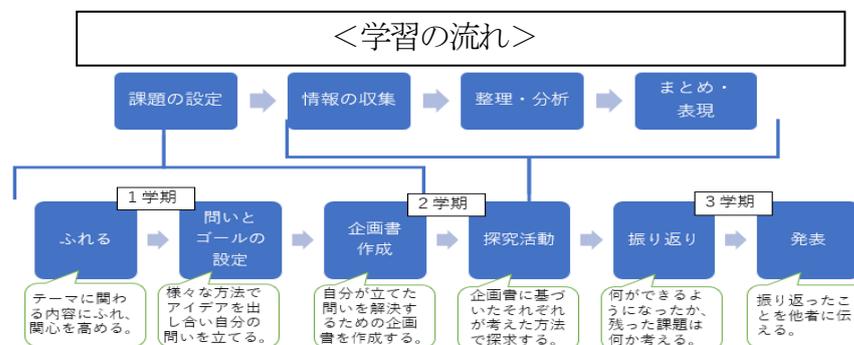
見つめよう 伸ばそう 深めよう～「自律した学び手」を育てるために～

【テーマについて】

本校では、昨年度「学習のつながりを意識して課題を自ら解決できる児童の育成を目指して」をテーマとして、授業の導入場面において、めあての提示の仕方や課題との出会わせ方を工夫し、課題解決に向けて見通しをもち、自分から課題解決に向かっていけることを目指して実践に取り組んできました。その結果、「学習のつながり」を意識して課題に取り組むことができるようになってきました。

そこで、本年度からは、昨年度までの学びを生かしつつ「ナゴヤ学びのコンパス」の考えに基づいた授業を展開していきます。「ナゴヤ学びのコンパス」では目指したい児童の姿を「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける」児童としています。本校においてもテーマを「見つめよう 伸ばそう 深めよう～「自律した学び手」を育てるために～」とし、子ども自身が自分を見つめ、自分に合った学び方で力を伸ばし、伸ばした力でさらに学びを深めていけるような学習に取り組むことにしました。本年度は特に、「自分の問いとゴール」を設定できるように子どもの心のエンジンに火をつける方法や「自分の問い」を解決するための探求活動での学びの振り返り方について力を入れて考えていきます。教職員一丸となって、実践研究を進め、主体的に学習に取り組むことのできる自律した児童を育成していきたいと思いをします。

【実践の考え方】



〈心のエンジンに火をつけるための手立ての例〉

- ・ 校外学習や外部講師を招いての授業など様々な方法で、テーマとの出会いを工夫する。(テーマにふれる段階)
- ・ 出合って感じた疑問や関心を出し合うことで、自分の考えを整理し「自分の問いとゴール」を決めることができるようにする。(問いとゴールの設定段階)

〈学びの振り返り方の手立ての例〉

- ・ 低学年：選択肢から選び、選んだ理由を記述する。
- ・ 中学年・高学年：ログブック（記録ノート）を使い、学びを振り返る。

【検証の方法】

- ・ 問いとゴールの設定場面や探究活動での学びの振り返り場面での児童の様子やログブック（記録ノート）の記述内容から検証する。
- ・ 生活科や総合的な学習の時間で実践を行う。
- ・ 低、中、高学年部会で授業実践に取り組む。